

令和2年度 第1回名古屋市在宅医療・介護連携推進会議 議事録

〈議 題〉

1. 名古屋市在宅医療・介護連携推進事業／在宅医療体制の整備事業について

資料に基づき、名古屋市在宅医療・介護連携推進事業／在宅医療体制の整備事業における令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画を報告した。

2. 医療資源マップについて

資料に基づき、昨年度実施した医療資源調査の結果を報告した。また、医療資源調査にご協力いただき、かつ、ホームページでの公開を可とした医療機関／訪問看護ステーションについては、はち丸在宅支援センターのホームページで公開している旨を報告した。

3. 在宅医療と介護の連携推進機関紙「はち丸っと」について

資料に基づき、はち丸在宅支援センターの内容等を広く周知し、センターの活用促進、また、多職種による協働を推進することにより市民への医療・介護サービスの向上につなげることを目的として、年4回（春・夏・秋・冬）、機関紙「はち丸っと」を発行していることを報告した。

4. 各委員からの現状の課題等について

資料に基づき、事前に各委員から寄せられた現状の課題等について報告のうえ、各委員からご意見・ご提案等を集約した。（詳細は別紙参照）

5. その他

▼都島委員（一般社団法人名古屋市歯科医師会 会長）より

当会の在宅歯科医療・介護連携室では、地域の皆さまから訪問依頼の窓口業務を行っており、市内各区の歯科医の先生に訪問をお願いしています。

今年はコロナウイルス感染拡大の影響を受け、4月5月は依頼件数が減っておりました。現在は緊急事態宣言も解除され、件数も回復基調にあります。今後とも、はち丸在宅支援センター他皆様に在宅歯科医療に関するご質問・お困りごとがありましたら、ぜひご活用いただきたいと思いますと考えております。

▼小林委員（一般社団法人愛知県医療ソーシャルワーカー協会 会長）より

遅ればせながら、当協会でもzoomを3アカウント購入し、オンライン会議を開催、研修に関してはオンライン研修マニュアルを作成し、コロナ禍での研修の機会を検討・実施を始めました。本会議は、主要な関係団体の方々の参加をいただいておりますので、参集型会議の開催もしくはオンライン会議（併用）にて直接意見交換できる機会をお願いしたいと思います。

▼柵木委員（公益社団法人愛知県栄養士会 会長）より

在宅療養している利用者さんのうち、5月～7月までの間に、デイサービスやデイケア、訪問看護や訪問リハ、訪問栄養など、緊急事態宣言下やそれ以上の日数をお休みされた療養者が多くみられました。

通所などのお休みにより、不活発によるADLの低下は今般課題になっておりますが、通所しな

いことで、生活のリズムが変わり、食事を食べなかったり、十分に食事の準備ができないなどの状況がみられています。

こうした事態は、災害などの際にも同様に起こりうることなので、今後、迅速な代替サービスや見守り支援の強化により、安定した食事が食べられるよう食支援の視点でも検討が必要であると感じています。